

開窓術(部分椎弓切除術)

腰椎(腰の骨)の後方部分の一部(赤線)を切除し、脊髄神経が通る管(脊柱管)を広げます。切除する骨は少なく椎間関節を温存するので脊柱の安定性は保持されます。

1椎間(1ヶ所)30分、2椎間(2ヶ所)45分程度で終了し、4.5cm程度の小さな傷で出血も少なく、身体の負担も少ない手術です。

手術翌日からリハビリを行い、10日程度の入院期間で家庭復帰が可能となります。

